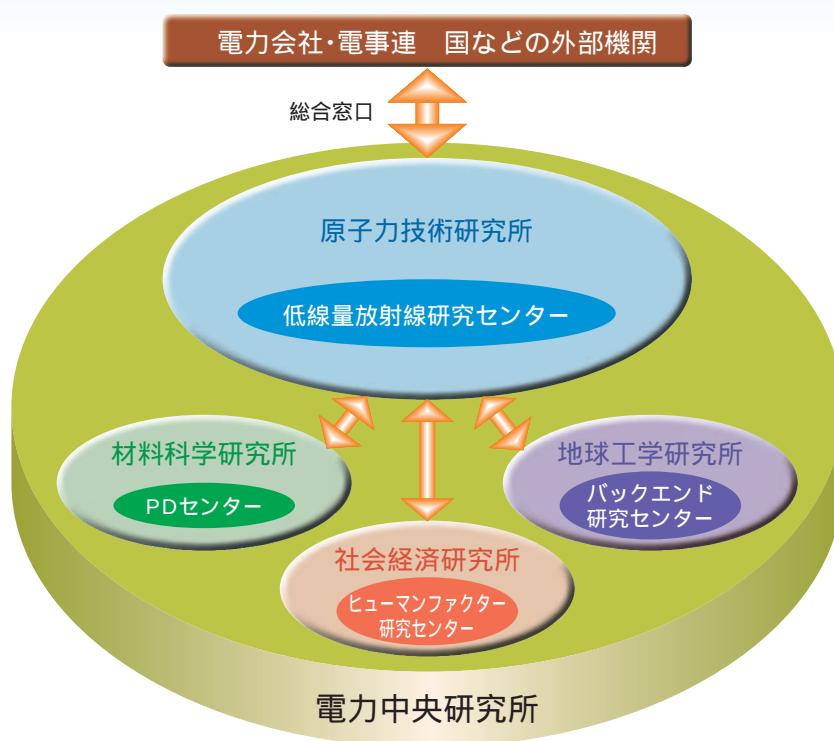


原子力発電は、現在3割を超える電力を生み出しており、今後とも基幹電源としての役割を担って行くことと思われます。また、CO₂の排出が他の電源に比べて極めて少ないことから、地球温暖化抑制のカギとしても期待されています。

電力中央研究所では、原子力発電の現状および将来を見据えて、各研究所(「原子力技術研究所」「材料科学研究所」「地球工学研究所」および「社会経済研究所」)で以下のように広範な原子力研究を実施しています。



原子力技術研究所

伝熱・流力振動、燃料・炉心解析
原子力情報分析・評価
乾式リサイクル技術、金属燃料FBR
核種分離変換技術
ナトリウム冷却小型高速炉(4S炉)
クリアランスレベル検認技術
TRU廃棄物処分の安全性評価

低線量放射線研究センター

低線量放射線の生体影響・情報発信

地球工学研究所

断層活動性評価
地盤の安定性評価
構造物の健全性評価
津波・波浪の評価

バックエンド研究センター

放射性廃棄物処理・処分の調査・評価
リサイクル燃料等の貯蔵・輸送
廃止措置の解体廃棄物処分・再利用

材料科学研究所

SCC(応力腐食割れ) 水化学
軽水炉維持基準支援
非破壊検査
圧力容器の照射脆化
バックエンド研究支援(貯蔵・輸送)

PDセンター

PD(性能実証)資格試験の運営および試験の実施

社会経済研究所

原子力政策
原子力法規制
リスクコミュニケーション

ヒューマンファクター研究センター

安全文化・ヒューマンファクター